

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和3年2月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和3年2月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和3年2月28日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【全体の業況は好転しているが、観光関連業は首都圏等の緊急事態宣言延長により業況回復の兆しが見られない状況である】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-34.1（前月-40.2、前年同月-25.7）で、前月比6.1pt好転した。観光関連業や飲食店関連業は継続して、コロナウイルスの影響を受け厳しい状況が続いているが、その他業種に関しては業況回復が見られ全体の景況感を押し上げた。

【製造業】

業況は-28.5（前月-32.3、前年同月-29.5）と前月に比べ3.8pt好転した。機械金属関連の業種において、機械金属、鉄骨建築関係、陳列棚等の受注が安定しており、売上に繋がっている。しかし、食料品製造業は取引先がコロナウイルスの影響を受けており、間接的な影響により厳しい状況が続いている。

【建設業】

業況は-20.6（前月-38.2、前年同月-14.6）と前月に比べ17.6pt好転した。先行きに不安を感じている事業者は多いが、現状は全般的に工事受注が増加しており、大幅に業況を押し上げた。

【小売業】

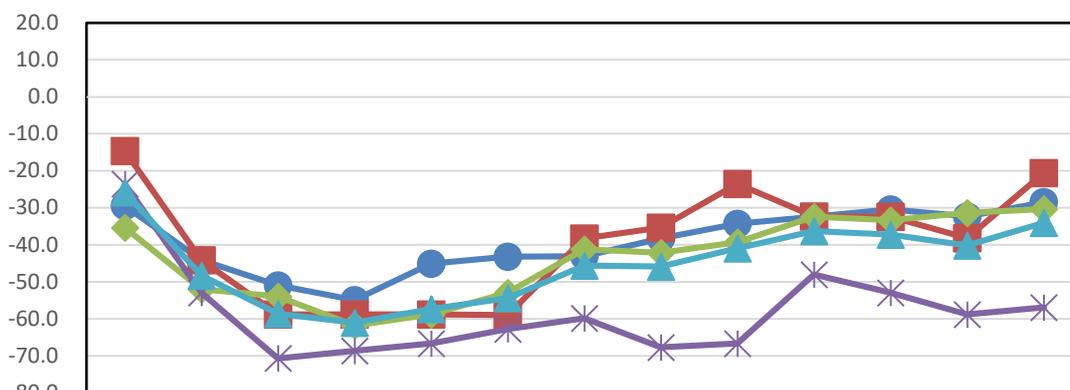
業況は-30.3（前月-31.4、前年同月-35.3）と前月に比べ1.1pt好転した。コロナウイルス第3波の影響に伴う外出自粛による内食需要により、食料品販売が好調である。また、耐久消費財も前月ほどではないが、売上が伸びている。

【サービス業】

業況は-56.9（前月-58.8、前年同月-23.5）と前月に比べ1.9pt好転した。先月に引続き、首都圏等の緊急事態宣言発令により、観光需要が減少傾向となっている。3月まで緊急事態宣言が延長されたことで、先行きの不透明感が強まっており、今後の動向に注視していく必要がある。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚・中村〕

＜令和3年2月期 業種別業況 DI推移表＞



	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2
DI値(製造業)	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9	-45.1	-43.2	-43.1	-38.3	-34.3	-32.4	-30.4	-32.3	-28.5
DI値(建設業)	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8	-58.8	-58.9	-38.3	-35.3	-23.5	-32.3	-32.4	-38.2	-20.6
DI値(小売業)	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8	-58.8	-52.9	-41.2	-42.2	-39.3	-32.4	-33.3	-31.4	-30.3
DI値(サービス業)	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6	-66.7	-62.8	-59.8	-67.7	-66.7	-48.0	-53.0	-58.8	-56.9
DI値(全業種平均)	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0	-57.3	-54.4	-45.6	-45.9	-40.9	-36.3	-37.3	-40.2	-34.1

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・機械金属関係は、取扱製品により差があり、陳列棚等を取扱う製造業は受注が大幅に増加している。(伊豆)
- ・緊急事態宣言の影響を受け、河津桜シーズンの観光需要が減少し食品関連は厳しい状況が続いている。(富士駿東)
- ・食品製造業にて、取引先飲食店の自粛により、売上減により苦戦している。(中部)
- ・金属機械・鉄骨建築関係の受注は安定している。(中東遠)
- ・縫製業は受注が多く、他社からの依頼を断っている状況。(西遠)

【建設業】

- ・町プレミアム商品券事業などの効果もあり工事受注は増加している。(伊豆)
- ・店舗の改装等、徐々に仕事が増えてきている。(富士駿東)
- ・前月と比較し売上が増加している。また、解体業の需要が伸びている。(中部)
- ・先行き不安は継続しているが、全般的に受注は安定している。(中東遠)
- ・現在受注中の仕事はあるが、4月以降の仕事が心配との話が多い。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業)

- ・町のコロナ対策助成金事業があり、空気清浄機などの購入が増加した。(伊豆)
- ・2月1日～28日の1ヶ月間スタンプラリー事業を実施し、高評価を得た。(富士駿東)
- ・コロナウイルス第3波の影響もあり、食品販売が好調である。(中部)
- ・コロナウイルスの影響に伴い、外出自粛による家呑み需要で、酒店の地酒、餃子店の冷凍餃子、飲食店が小売店に卸している惣菜が売れている。(中東遠)
- ・製菓小売業において、バレンタインデーなどの商戦について、事前に予約を受けた分のみの販売とし、ロスもなく売上確保に繋がった。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・桜まつりの中止による影響を受け、宿泊業における売上は前年比7割減というような景況感である。(伊豆)
- ・緊急事態宣言の再発令の影響を受け、会食や観光需要が減少し、厳しい状況が続いている。(富士駿東)
- ・観光客をターゲットとしている宿泊業は首都圏等緊急事態宣言発令により、ほとんど売上がない状況。(中部)
- ・外出を控える傾向が続く必要減の傾向に変わりはない。(中東遠)
- ・理美容業において売上が前年対比で同額に戻ってきた店もある(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和3年2月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-41.2	-38.2	悪化
売上	-38.3	-38.3	不変
仕入単価	-5.9	-5.8	低下
採算	-44.1	-44.1	不変
資金繰り	-41.2	-41.2	不変

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.8	-17.7	好転
売上	-11.7	-14.8	増加
仕入単価	5.9	8.8	低下
採算	-14.8	-11.8	悪化
資金繰り	-11.8	-11.8	不変

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.4	-41.1	好転
売上	-23.5	-35.3	増加
仕入単価	2.9	2.9	不変
採算	-26.5	-35.2	好転
資金繰り	-23.5	-32.3	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-38.2	好転
売上	-5.9	-38.3	増加
仕入単価	5.9	-2.9	上昇
採算	-14.6	-32.3	好転
資金繰り	-11.8	-41.1	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-52.9	-53	好転
売上	-44.1	-50	増加
仕入単価	-2.9	0	低下
採算	-44.1	-47.1	好転
資金繰り	-47.1	-52.9	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.7	-17.6	好転
売上	5.9	0	増加
仕入単価	-5.9	-8.9	上昇
採算	-23.6	-14.6	悪化
資金繰り	-26.5	-26.4	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.4	-23.5	悪化
売上	-14.6	-17.6	増加
仕入単価	5.9	3	上昇
採算	-23.5	-23.5	不変
資金繰り	-26.4	-29.4	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-67.7	-61.8	悪化
売上	-55.9	-53	減少
仕入単価	-5.9	-5.9	不変
採算	-56	-56	不変
資金繰り	-56	-58.9	好転

9.洗濯業

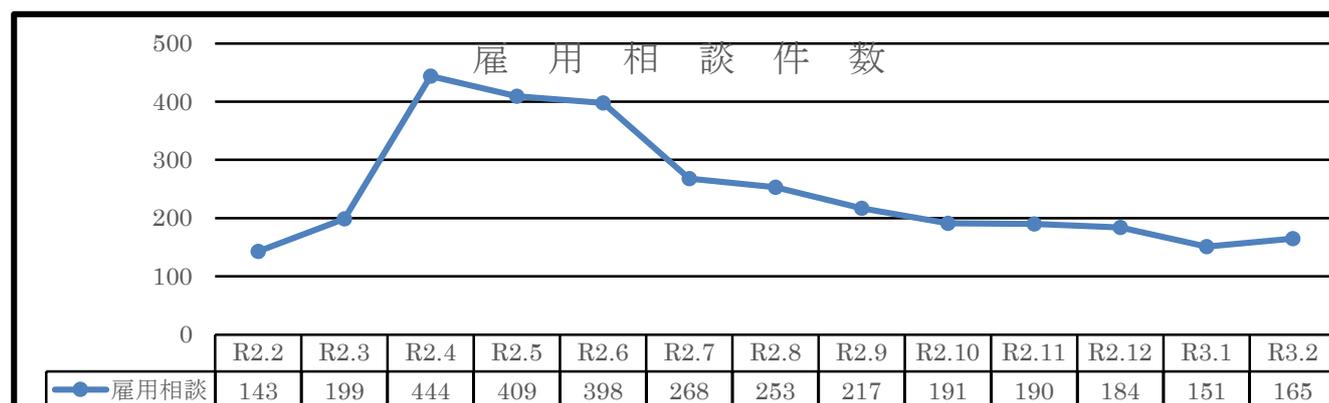
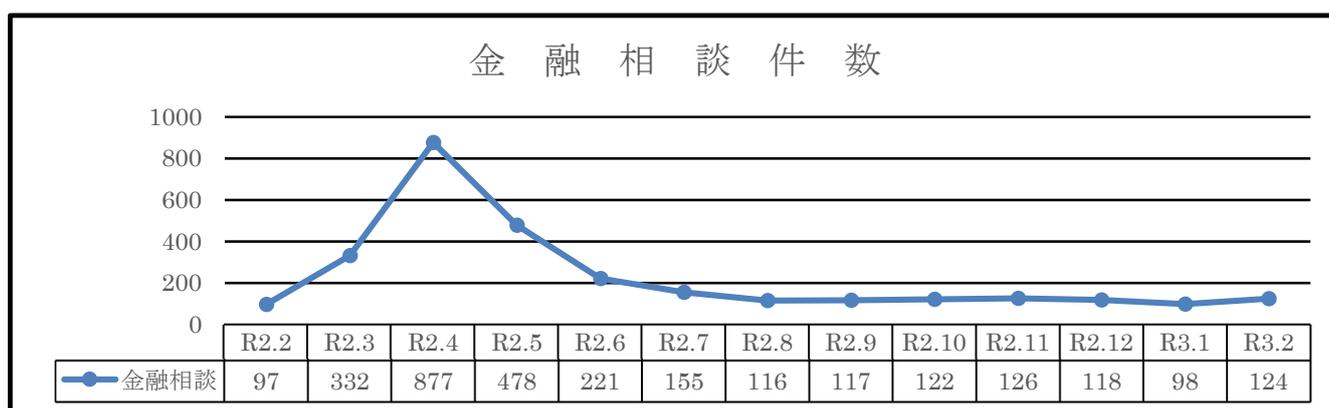
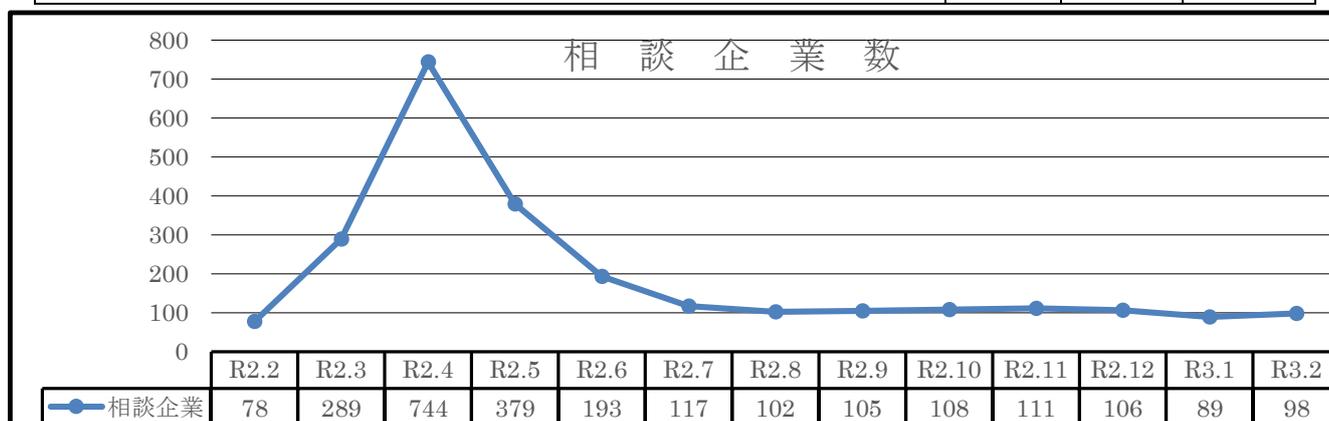
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-64.7	-64.7	不変
売上	-58.8	-58.9	増加
仕入単価	5.9	3	上昇
採算	-47.1	-47.1	不変
資金繰り	-53	-56	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-38.3	-50	好転
売上	-29.5	-50	増加
仕入単価	-3	5.9	低下
採算	-26.5	-35.3	好転
資金繰り	-38.3	-44.1	好転

金融・雇用相談実績月次報告(令和3年2月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	98	89	9
【金融相談件数】	124	98	26
新規融資(借換えを除く)	70	57	13
既存債務の借換え	52	32	20
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	2	9	-7
【雇用相談件数】	165	151	14



【金融相談】

金融相談件数は、124件と前月(98件)に比べ26件増加した。コロナ禍の長期化により、売上・業績の回復や見通しがたたないため、元本返済猶予再延長についての融資相談が多くでてきている。

<経営指導員コメント>

- ・昨年春に融資したコロナ特別融資など、1年間の元本返済猶予設定であった事業者がコロナ禍継続により、元本返済猶予再延長のために借換希望の相談が見られる。(伊豆)
- ・資金繰り相談の多くは元金据置期間の延長についてである(富士駿東)
- ・設備資金についての相談がでてきている。(中部)
- ・運転資金(新規創業、事業承継、コロナ影響)において幅広い内容で相談があり、対応している。(中東遠)
- ・資金繰り悪化による融資相談が増加しているが、前向きな融資相談も見られる。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、165件と前月(151件)に比べ14件増加した。雇用保険の資格取得・喪失などの相談が寄せられている。また、建設業では従業員の新規従業員の雇用が多く見受けられる。

<経営指導員コメント>

- ・雇用者の外注化などの相談がみられる。(伊豆)
- ・雇用保険資格取得・喪失手続き等、従業員の就業に関する相談に適宜対応している。(富士駿東)
- ・休業手当に伴う内容について相談を受けている。(中部)
- ・小規模な建設業では事務量が多くなり、従業員が雇用保険対象要件を満たし、雇用保険手続きが必要となる相談が寄せられている。(中東遠)
- ・コロナ禍の厳しい状況であるが、建設業において新規の従業員を雇用する企業が数社あった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・3月15日より第2弾南伊豆町プレミアム商品券(プレミアム率100%、1世帯額面5万円まで)の販売がスタートし、4月より利用開始となる。
- ・来店客が減少している飲食店、小売店の販売促進を図るため、清水町役場の中庭を会場に平日11時~14時まで、中庭マルシェを開催した。(清水町)
- ・富士市は独自に、令和3年1月~3月の売上減少の大きさに応じ、10~30万円給付する「第二次富士市持続化プラス給付金」を決定した。3月15日より申請受付が開始された。(富士市)
- ・醤油醸造場で、100年ぶりに木桶を新調しお披露目見学会を開催した。通常は酒蔵が使った木桶を中古で譲り受ける為、新しい木桶搬入は珍しく全国から30名ほどのギャラリーが見守った。(掛川みなみ)
- ・観光協会が行った観光事業「牡蠣小屋」。昨年に引き続き、牡蠣の漁獲量が少なかったが、ある程度の賑わいを見せ、2月21日(日)をもって終了となった。(新居町)